



「歩いて登下校のすすめ」

先週は、朝から真冬を思わせる天気が数日続きました。そんな中でも、毎朝校門に立っていると子どもたちの「おはようございます。」の元気な声が聞こえてきます。私自身が子どもたちから元気をもらっていることを実感する毎日です。

ただ、少し気がかりになっていることがあります。それは、車で送ってもらっている子どもたちのことです。雨の日には、20台以上、晴れの日でも10台以上の児童を乗せた車が桜門から出入りしています。校区外からの登校や怪我で歩くことが困難な場合、特別な事情がある場合等に車で送っていただくことは、何の問題もありません。ただ、歩いて登校できるのに安易に子どもたちを車で送ることは、将来的に子どもたちの自立にはつながらないと考えています。

「歩育」という言葉があります。歩育とは、「歩いて、自然や社会に触れ、五感を開き体で学ぶ直接体験を通じて、子どもたちの豊かな心、生きる力を育てる基礎教育である」と言われています。又、歩いて登下校することには、次のようなよさがあると言われています。

【歩いて登下校するよさ】

①体力が向上します

仮に片道800m歩くとしたら、1日で往復1.6km。1週間(5日間)で8km。1ヶ月では、約32km以上歩くことになり、自然と脚力や持久力がついてきます。

②忍耐力がつきます

雨の日や寒い日でも、車で送ってもらえなければ、自分で歩くしかありません。きつい時も自分で歩かなければ学校にも、家にも着きません。だから、自然と忍耐力がついてきます。

③地域の方との交流ができます

登校時に見守りをいただいている地域の方と挨拶等を通して交流ができます。地域の方に顔を覚えてもらうことで防犯にも効果があります。

④四季を体で感じます

咲いている草花、耳に響く蝉の声、赤や黄色に色づく葉、息が白くなる程の寒さなど、四季の移り変わりを体感することができます。

⑤規則正しい生活習慣が身につきます

遅刻しないように歩いて登校するためには、家を早く出なければなりません。そのため、早く起きる、早くご飯を食べる等、規則的な生活のリズムが身につけてきます。

⑥体の調子よくなり、よい影響を与えます。

歩くことは、有酸素運動であり、免疫力が高まります。又、歩いて登校することにより血流がよくなり、脳の働きが活発化し学習にもよい影響を与えます。



これから冬を迎え、朝ふとんから出たがらない子どもたちが多くなるかもしれません。ただ、このような時期だからこそ、自分で歩いて登校することは大事だと考えています。今まで、車で送ってもらったことが多かった子どもさんは、少しずつでもいいので、自分で歩いて登下校することに挑戦させていただけないでしょうか。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

しっかりと前を見て ～青少年健全育成のための意見発表会～

11月6日(日)に令和4年度 青少年健全育成のための意見発表会がザンクス筑後で開催されました。小学生は、「伝記を読んで思うこと」というテーマで市内11校の代表の子どもたちが参加しました。筑後小学校からは、6年生の〇〇さんが「2つの大切な心」という題名で、佐野 有美さんの伝記を読んで考えた自分の意見を発表してくれました。

佐野さんは、先天性四肢欠損症で生まれつき両手がほとんどなく、足の指も右が1本、左が3本というしょうがいを抱えて生まれてきました。しかし、「自分も縄跳びを跳べるようになりたい。」という強い願いと、たくさんの努力を重ね77回も縄跳びができるようになります。でも、努力を重ね、できることが増えていくにしたがい「自分は、周りに迷惑をかけていないか」と自分自身を責め続けていきます。そして、その中で新たな自分に気づいていきました。

〇〇さんは自分の経験と結びつけながら、佐野さんの生き方から、「諦めない心」、「自分を信じる心」を学び、自分の夢の実現に向けて困難に負けず、前に進んでいきたいと考えました。

350人を超える聴衆を前に、最後までしっかりと前を見て自分の意見を発表する〇〇さんの姿が、とても印象に残りました。※〇〇さんの写真は、筑後市広報12月号にも掲載されています。



6年 〇〇さん

お知らせ

2学期は、11月に個人懇談会を行い、子どもたちの学習の状況や学校生活の様子を直接担任からお伝えしています。そのため、2学期のあゆみ(通知表)は、各教科の評価等のみとし、所見の記入は行っていません。

【校長のつぶやき】「店から消えたサンマ缶」

私は、サンマ缶が好きでよく食べていました。しかし、今店には、サンマ缶は、並んでいません。代わりに、サンマ缶と同じようなイワシ缶が並んでいます。味も変わらず美味しいのですが・・・。店内を何気なく見ていると正月用のスルメは、「えっ」と思うように小さく、しかも高額です。「サンマの次は、スルメか」と寂しい正月の様子が予感されました。身の回りの環境は、間違いなく悪化しています。SDGsの必要性をとて実感させられました。